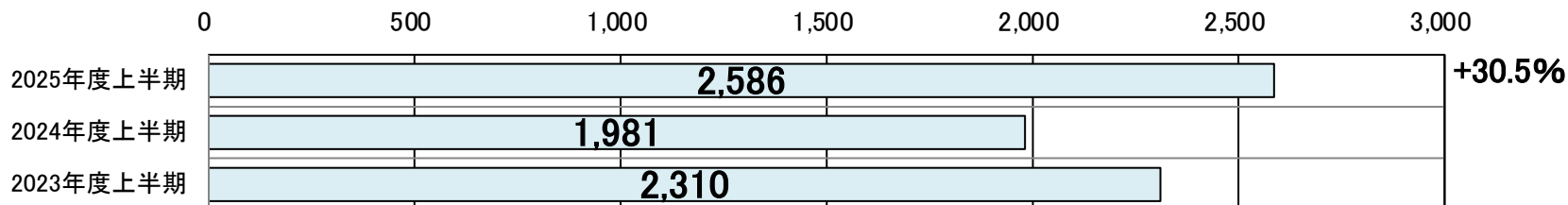


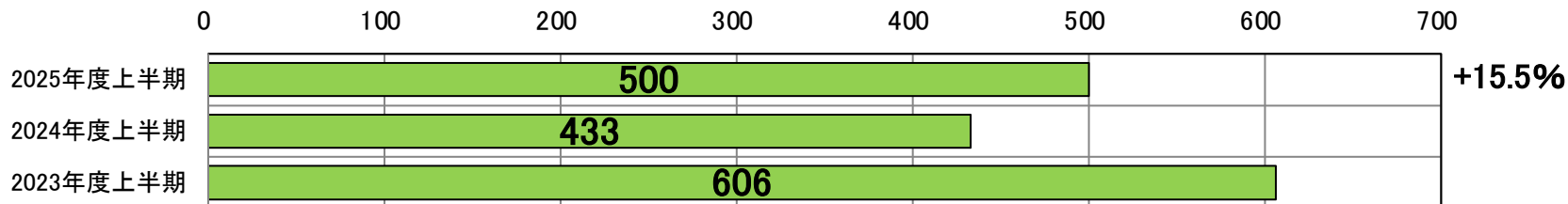
2025年度上半期(4～9月)の相談、苦情、あっせんの状況について

1. 2025年度上半期の相談、苦情、あっせん申立て件数

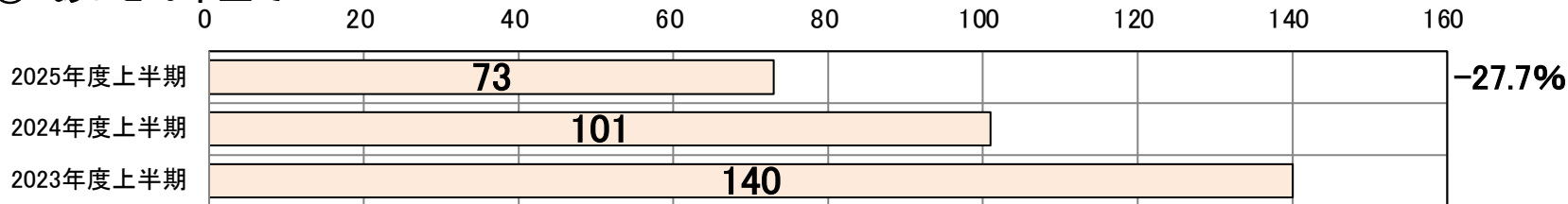
① 相談



② 苦情



③ あっせん申立て



概況：

前年同期に比べ、相談及び苦情の件数は大幅に増加（それぞれ+30.5%、+15.5%）したが、あっせん申立ての件数は大幅に減少（-27.7%）した。

2. 2025年度上半期の相談、苦情、あっせん申立ての内容別内訳

① 相談

類 型	2025年度上半期		2024年度上半期	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
制度	726	28.1	627	31.7
うち証券会社	527	20.4	396	20.0
センター業務	84	3.2	98	4.9
取引制度	47	1.8	37	1.9
勧誘	79	3.1	109	5.5
うち説明義務	27	1.0	56	2.8
強引	24	0.9	25	1.3
適合性	21	0.8	21	1.1
売買取引	503	19.5	311	15.7
うち無断	247	9.6	22	1.1
売買一般	146	5.6	129	6.5
取引制度	69	2.7	97	4.9
事務処理	606	23.4	341	17.2
投資運用	12	0.5	10	0.5
投資助言	15	0.6	13	0.7
その他※	645	24.9	570	28.8
合 計	2,586	100	1,981	100

概況:

前年度に比べ、類型では「勧誘」を除き増加し、「売買取引」及び「事務処理」に関する相談は大幅に増加（対前年比はそれぞれ+192件・+61.7%、+265件・+77.7%）した。内訳では「事務処理」に関する相談（606件）が最も多く、「制度」の「証券会社」に関する相談（527件）、「売買取引」の「無断売買」に関する相談（247件）が続いた。※「その他」には、当センターの対象業務ではない事項に関する相談等を含む。

2. 2025年度上半期の相談、苦情、あっせん申立ての内容別内訳

② 苦 情

類 型	2025年度上半期		2024年度上半期	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
勧誘	99	19.8	135	31.2
うち説明義務	53	10.6	89	20.6
適合性	15	3.0	18	4.2
強引	16	3.2	13	3.0
売買取引	225	45.0	157	36.3
うち無断	88	17.6	19	4.4
売買一般	64	12.8	48	11.1
取引制度	33	6.6	36	8.3
事務処理	135	27.0	106	24.5
投資運用	1	0.2	2	0.5
投資助言	10	2.0	4	0.9
その他	30	6.0	29	6.7
合 計	500	100	433	100

③ あっせん申立て

類 型	2025年度上半期		2024年度上半期	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
勧誘	52	71.2	92	91.1
うち説明義務	28	38.4	77	76.2
適合性	18	24.7	12	11.9
断定的判断の提供	3	4.1	2	2.0
売買取引	18	24.7	9	8.9
過当売買	4	5.5	1	1.0
無断売買	4	5.5	1	1.0
うち売却・解約阻止	2	2.7	1	1.0
事務処理	3	4.1	-	-
投資運用	-	-	-	-
投資助言	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
合 計	73	100	101	100

概況：

苦情では「事務処理」に関するもの、売買取引における「無断売買」に関するもの、勧誘時の「説明義務」に関するものが多い状況であった。

あっせん申立てでは、勧誘時の「説明義務」に関するものが多い状況であった。

3. 2025年度上半期の相談、苦情、あっせん申立ての商品別内訳

商品の種類	相談				苦情				あっせん申立て			
	2025年上半期		2024年上半期		2025年上半期		2024年上半期		2025年上半期		2024年上半期	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
株式	654	25.3	497	25.1	214	42.8	152	35.1	17	23.3	6	5.9
債券(仕組債を除く)	105	4.1	92	4.6	23	4.6	24	5.5	9	12.3	9	8.9
仕組債	12	0.5	29	1.5	25	5.0	76	17.6	20	27.4	77	76.2
投資信託	172	6.7	164	8.3	80	16.0	55	12.7	10	13.7	5	5.0
有価証券デリバティブ	5	0.2	9	0.5	3	0.6	13	3.0	1	1.4	1	1.0
金融先物デリバティブ	44	1.7	95	4.8	38	7.6	46	10.6	1	1.4	2	2.0
CFD	8	0.3	7	0.4	18	3.6	10	2.3	11	15.1	-	-
その他のデリバティブ	-	-	1	0.1	1	0.2	-	-	1	1.4	-	-
暗号資産デリバティブ	-	-	-	-	4	0.8	1	0.2	1	1.4	-	-
商品関連デリバティブ	6	0.2	13	0.7	6	1.2	4	0.9	1	1.4	-	-
第2種関連商品	15	0.6	18	0.9	8	1.6	2	0.5	1	1.4	1	1.0
ラップ	18	0.7	11	0.6	5	1.0	7	1.6	-	-	-	-
先物オプション	3	0.1	6	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-
STO	2	0.1	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-
その他	1,542	59.6	1,039	52.4	75	15.0	42	9.7	-	-	-	-
合計	2,586	100	1,981	100	500	100	433	100	73	100	101	100

- ※1. 有価証券デリバティブは株価指数先物取引等です。金融先物デリバティブには、FX（外国為替証拠金取引）や通貨オプション取引を含みます。CFDは差金決済取引のうち主に株価指数証拠金取引に関するものです。その他のデリバティブには通貨スワップ取引や金利スワップ取引を含みます。第2種関連商品は集団投資スキーム取引等（匿名組合ファンドの募集等）を指します。
2. 当センターの対象業務ではない事項に関する相談も商品の種類に応じて分類しています。

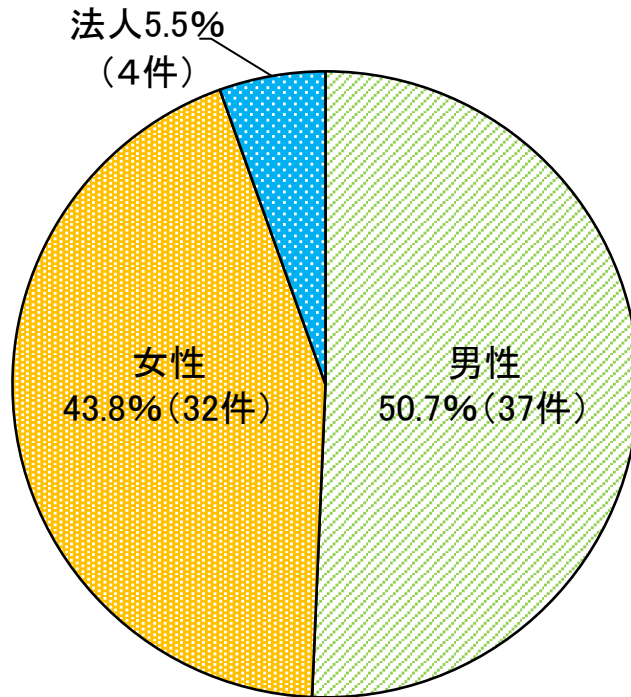
概況：

商品別の内訳では、相談及び苦情においては株式の割合が高く（それぞれ25.3%、42.8%）、あっせん申立てでは、債券のうち仕組債の割合が高い状況（27.4%）であった。

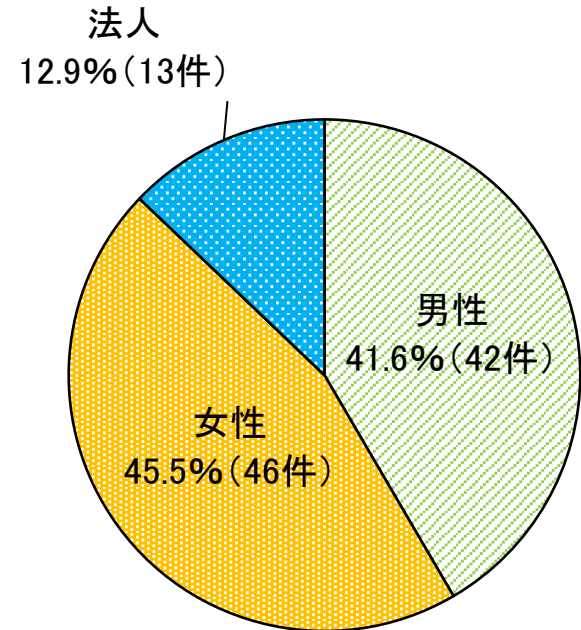
4. 2025年度上半期のあっせん申立てについて

(1) あっせん申立者の個人(男/女)・法人別状況

< 2025年度上半期(73件) >



< (参考)2024年度上半期(101件) >



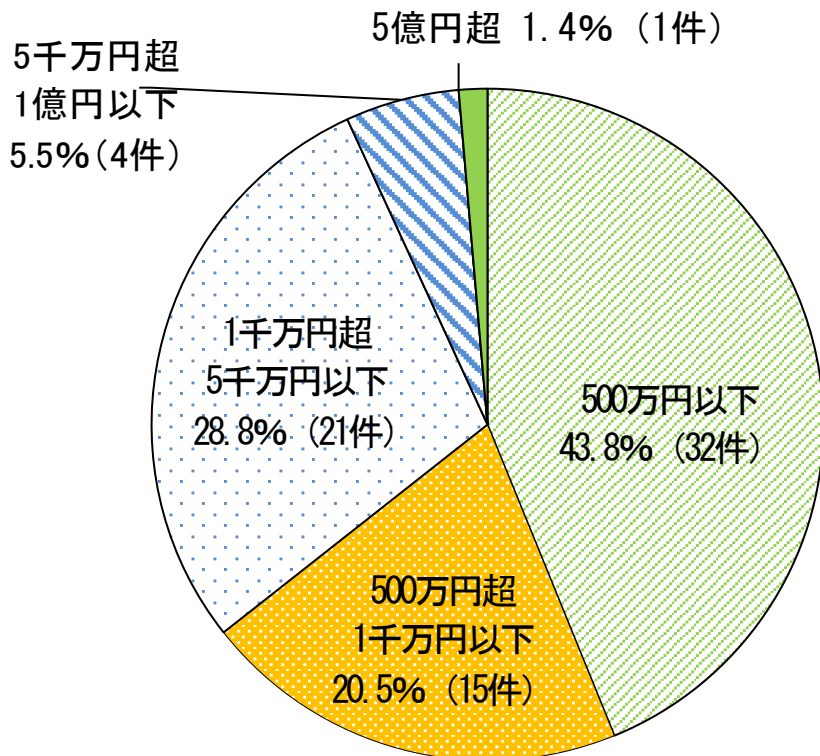
概況:

あっせん申立ての内訳は、男性50.7% (37件)、女性43.8% (32件)、法人5.5% (4件)となった。個人からの申立てが大勢を占める状況に変化はないが、法人からの申立て割合は減少した。

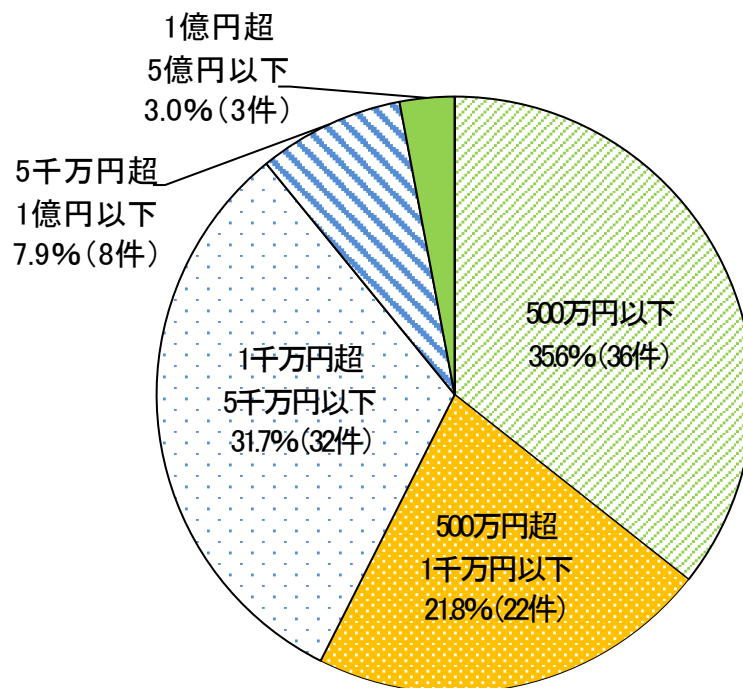
4. 2025年度上半期のあっせん申立てについて

(2) あっせん申立てにおける請求金額

< 2025年度上半期(73件) >



< (参考) 2024年度上半期(101件) >



概況:

あっせん申立ての請求金額は、1千万円以下が64.4% (47件) と過半を占めた。「1千万円超 5千万円以下」28.8% (21件)、「5千万円超 1億円以下」5.5% (4件)、「1億円超 5億円以下」はなく、「5億円超」1.4% (1件) の申立てがあった。なお、100万円以下の割合は17.8% (13件) であった。

5. 2025年度上半期のあっせん終結事案について

(1) 概況

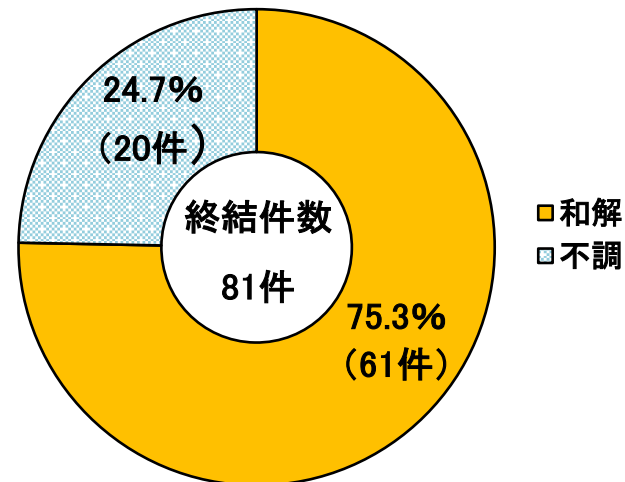
	2025年上半期	2024年度上半期
期初未済件数	54	85
新規申立件数	73	101
終結件数	83(2)	100(2)
期末未済件数	44	86

※()内は取り下げ等の件数。

(2) あっせん開催回数(取り下げを除く)

	2025年上半期 (81件)	2024年度上半期 (98件)
1回	77	87
2回	3	11
3回	1	-
4回	-	-
平均開催回数	1.06	1.11

(参考) 終結結果

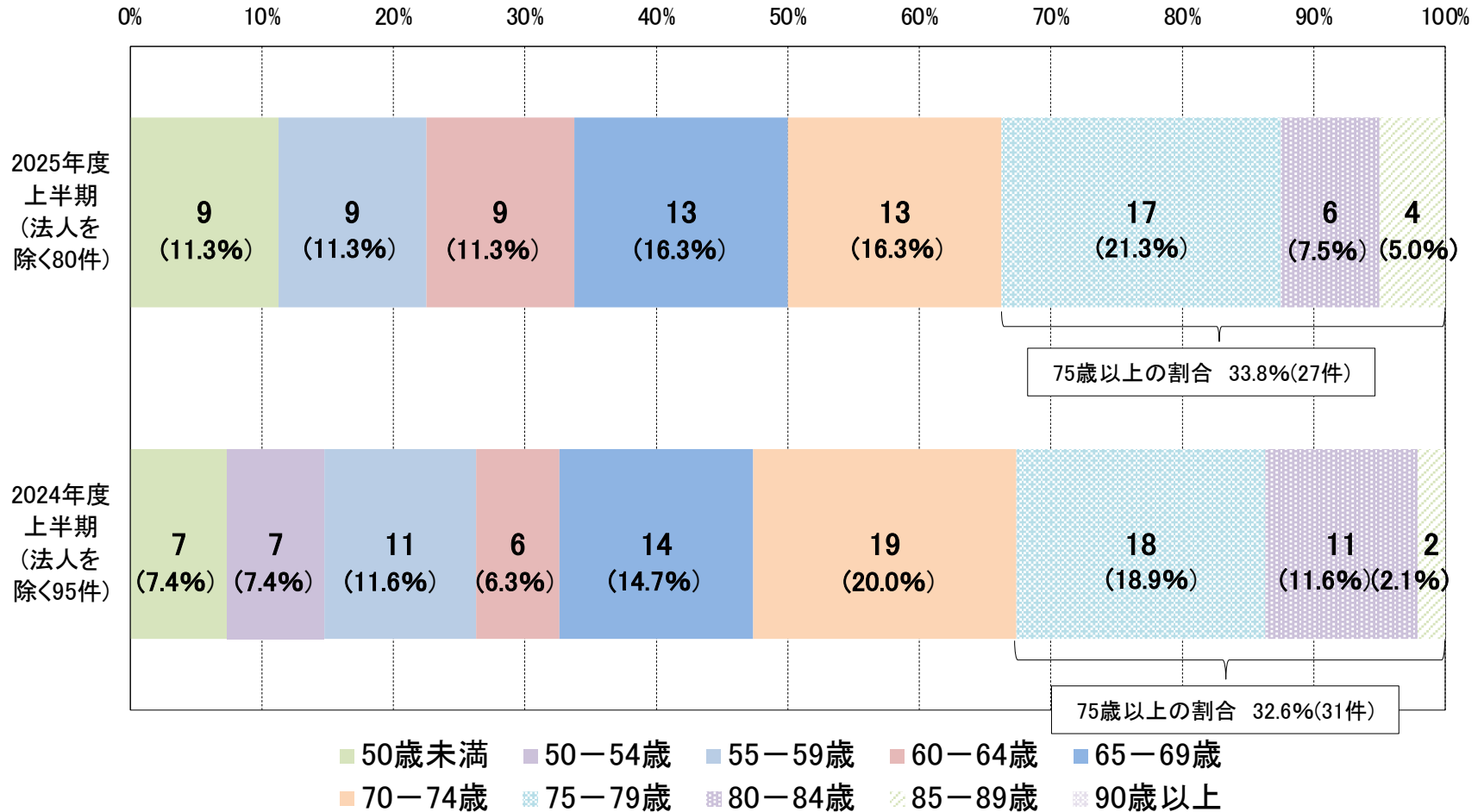


概況:

2025年度上半期に終結したあっせんの件数は81件(取り下げを除く)であった。その内訳は、和解61件、不調20件で、終結件数に占める和解件数の割合(和解率)は75.3%(前年同期75.5%・取り下げ等を除く)であった。あっせん開催回数は、1回の事案77件、2回の事案3件、3回の事案1件、平均開催回数は1.06回(前年同期1.11回)であった。

5. 2025年度上半期（法人を除く80件）のあっせん終結事案について

（3）年齢別内訳



概況：

2025年度上半期の終結事案（個人80件）における申立人のうち、75歳以上の高齢者の割合は33.8%、27件（前年同期32.6%、31件）であった。